



株式会社 ナックイメージテクノロジー
CREATIVE 制作営業部
2022年3月30日 T22001



アレクサミニ SUP 6.1.2

ソフトウェア・アップグレード・パッケージ SUP 6.1.2:83

リリースノート 日本語版

2022年2月1日

和訳・追記

株式会社 ナックイメージテクノロジー

営業本部 制作営業1部

〒107-0061

東京都港区北青山 2-11-3

03-3976-7901

目次

A. 概要	3
SUP 6.1.2 の新機能と変更点の一覧.....	3
アップデートに関する注意点.....	3
ダウングレードに関する注意点.....	3
互換性のあるソフトウェア	3
オンラインレジストレーション.....	4
B. 法令	5
使用対象者と使用目的	5
重要な注意事項	5
C. SUP 6.1.2 の新機能	6
全体的な機能向上とバグフィックス.....	6
D. 既知の問題	7
SUP 6.1.2 における既知の問題	7
アクセサリ	7
EXT Sync.....	7
フレームグラブ	7
入力/出力	7
メディア.....	9
メタデータ.....	9
再生	9
収録	10
タイムコード.....	10
ユーザビリティ	11
ビューファインダー	12
E. アップデート手順	13
ソフトウェア・アップデート・パッケージ (SUP)のダウンロード方法	13
カメラのアップデート方法	13

A. 概要

本文書では、SUP 6.1.2 の ALEXA Mini カメラにおける変更点について説明します。SUP 6.1.2 の主な機能は SUP 6.1.1 と同じですが、重要なバグフィックスとハードウェアパラメータの改修が加えられています。

カメラをご利用になる前に本文書および「既知の問題」項、ユーザマニュアルをご一読ください。

詳しい情報は、以下の URL からご覧いただけます。

<http://www.arri.com/alex-mini>

よくある質問とその回答は、以下の URL からご覧いただけます。

<https://www.arri.com/en/learn-help/learn-help-camera-system/frequently-asked-questions/alex-mini-faq>

SUP 6.1.2 の新機能と変更点の一覧

- ・ バグフィックス
- ・ ハードウェアパラメータの改修

アップデートに関する注意点

カメラを最新バージョンにアップデートすることを強く推奨します。

- ALEXA Mini SUP 6.1.2 はすべての AMIRA カメラにインストールできますが、SUP 6.1.1 から SUP 6.1.2 へアップデートすることを推奨します（この作業には 20 分程かかります）。SUP 6.1.1 がインストールされていないカメラの場合、SUP 6.1.2 にアップデートする前に、ARRI のウェブサイトから SUP 6.1.1 をダウンロードしてアップデートしてください。
- 作品の撮影中に新しい SUP をインストールすることは推奨しません。とはいえ、「SUP 6.1.1 の新機能と変更点」に記された項目により、撮影の進行に支障が出るエラーが解消される場合は、インストールを推奨します。
- アップデート中にビューファインダーがオフになり、進行状況が見えなくなる場合がありますが、アップデート中は電源の供給が途切れないようにしてください。アップデート方法の詳細は、「アップデート手順」項をご覧ください。
- ウェブリモート経由でカメラ操作や SUP アップデートを行う際は、誤操作を防ぐため、ブラウザをプライベートまたはシークレットモードで使用してください。

ダウングレードに関する注意点

ALEXA Mini カメラを以前のバージョンにダウングレードすることは可能ですが、推奨しません。

カメラのイメージセンサーが 35℃でキャリブレーションされている場合、ダウングレードすることはできません。本バージョンのリリース以降に製造またはサービスセンターにてキャリブレーションされたカメラが、これに該当する場合があります。センサーのキャリブレーション温度は INFO > SYSTEM INFO > Sensor temperature から確認できます。以前の SUP バージョンにダウングレードするには、任意のライセンスファイル (mini_fw_update_aes_x.x.x.lic) を USB メモリースティック内のディレクトリ/ARRI/A-MINI/LICENSES/に保存してください。

互換性のあるソフトウェア

ARRIRAW Converter (ARC) をバージョン 4.1.1.0 以降に、ARRI Meta Extract (AME) をバージョン 4.1.0.0 以降に更新してください。

MXF/Apple ProRes 映像を Apple QuickTime Player で再生するには、macOS X バージョン 10.15 に Apple MXF プラ

グイン (“Pro Video Formats 2.1”に同梱)をインストールする必要があります。

オンラインレジストレーション

オンラインカスタマーレジストレーションをまだ行っていない場合、下記の URL からお持ちのカメラをご登録してください。今後、ソフトウェアアップデートなどの最新情報を速やかにお送りいたします。また、カメラをご購入後 1 ヶ月以内にご登録いただければ、6 ヶ月間の延長保証が無料で受けられます。

<https://alshop.arri.de/register>

B. 法令

使用対象者と使用目的

本製品は、商業利用を目的とした顧客のみが唯一かつ排他的に使用可能であり、熟練者のみが使用するものとします。すべての使用者は、ARRI のガイドラインに従ってトレーニングを行う必要があります。本書に記載されている目的にのみ使用してください。関係するすべての機器について、有効な指示要項とシステム要件に従ってください。

重要な注意事項

高電圧による感電および火災の危険があります！

ショートによる致命的な損傷の恐れがあります！

使用前に有効な指示要項を読み、それに従ってください。

指示要項に記載されている通りに使用してください。

システムの解体や、異物の挿入は行わないでください。

運用においては、必ず指示要項に記載されている電源を使用してください。

電源ケーブルを抜く際は、ケーブルでなくプラグを保持して抜くようにしてください。

システムのいかなる部分もユーザが修理しないでください。修理は ARRI サービスセンターにおいてのみ行われます。

保安パーツ（警告ステッカーや、ペイントで印が付いたネジ）は取り除いたり無効化させないでください。

常に湿気、低温、高温、汚れ、振動、衝撃、危険物質から保護してください。

ファンの開口部を覆わないでください。

重量による怪我や損傷の危険があります！

不安定な面に置くと、カメラが落下して重大な損傷を引き起こす可能性があります！

カメラは常に適切なサポートデバイスに設置してください。指示要項に従い、安全に取り付けてください。

重要な安全情報の詳細については、ユーザマニュアルを参照してください。

ARRI は、製品寿命が続く限り、継続的にハードウェアの状態を改善しています。このソフトウェア・アップデート・パッケージは、最新のハードウェアでのテストに加え、以前のハードウェアでもテストされました。本文書の“既知の問題”項に記載されていない問題が発生した場合、ARRI サービスセンターまでご連絡ください。

C. SUP 6.1.2 の新機能

全体的な機能向上とバグフィックス

- ・ いくつかのバグフィックスが行われました。
- ・ 異なる温度でのセンサーキャリブレーションをサポートしました。本バージョンをインストールしたカメラは、ARRI の製造部またはサービスセンターにおいて、従来の 40℃ではなく 35℃でセンサーキャリブレーションを行うことができます。SUP 6.1.2 をインストールするだけでは、カメラのキャリブレーションパラメータは変更されません。

D. 既知の問題

SUP 6.1.2 における既知の問題

ここでは SUP 6.1.2 における既知の問題を列挙しています。

アクセサリ

- **キヤノン B4 レンズ HJ18 のスタート/ストップ**

ARRI B4 マウント使用時にキヤノン HJ18 のケーブルが接続された状態でスタート/ストップ機能が動作しなかった場合、レンズの“Reset all”を実行してください。

EXT Sync

- **カメラカウントの警告メッセージ**

接続されているカメラ台数をカウントしている旨の警告メッセージが表示されている間は、カメラカウントの変更は更新されません。警告メッセージを閉じると更新されます。

- **同期モードでオフスピード撮影中に SDI 設定を変更する**

カメラがオフスピード撮影中 (sensor fps != project fps)に SDI 設定 (SDI フレームレート/SDI フォーマット/SDI イメージ)が変更された場合、SDI 出力が互いに同期していないことがあります。この場合、マスターカメラのセンサーfps 設定を前後に調整することで、SDI 出力同期を再確立させてください。

- **設定されていないスレイブカメラでのアラート誤表示**

まだスレイブカメラに設定されていないカメラがマスターカメラに接続されている場合、アラートが誤表示されます。EXT Sync を構成する場合、先にすべてのスレイブカメラを準備してからマスターカメラをセットアップしてください。

フレームGrab

- **インタレースの S16 および HD クリップをポーズしている間はフレームGrab不可**

フレームGrabを行う場合、再生中に行ってください。

- **WiFi 接続時の CAP 経由でのフレームGrab**

WiFi 接続時の CAP 経由でのフレームGrabは、失敗することがあります。イーサネット接続時の CAP 経由でのフレームGrabは問題ありません。

- **ARRIRAW 再生時のフレームGrab**

ARRIRAW 再生中にフレームGrabを行った場合、フレームのエッジ部分でピクセルの輝度が異なって表示されることがあります。

入力/出力

- **最初のリターン入力でノイズ**

カメラの起動またはセットアップ後、最初のリターン入力映像に切り替えた際に、SDI 出力に歪んだ映像が表示されるこ

とがあります。2 回目以降は問題なく表示されます。

- **SDI 2 での誤ったフォルスカラー**

SDI 1 の出力を"Clean"、SDI 2 の出力を"Processed"に設定しているとき、フォルスカラーモードが"Log C-Based"に設定されていても、SDI 出力は"Monitor Based "モードで表示されます。SDI 1 が"Processed"、SDI 2 が"Clean"の場合、問題は発生しません。

- **V/H flip 使用時のインタレースフィールドオーダ**

V flip や V/H flip 機能を使用すると、SDI 出力のインタレースフィールドオーダが逆転します。

- **SDI 出力と収録フレームレートの違いによるノイズ**

SDI 出力フレームレートが 59.94 や 60fps であり、収録フレームレートが 50fps 以下の場合、SDI 映像に線上のアーティファクトが発生することがあります。

- **再生モード切り替え時の信号ロス**

インタレース収録時や、収録フレームレートがプロジェクトフレームレートの 2 倍に設定されている場合、再生モードを切り替えた時に、SDI 出力に一瞬の信号ロスが発生します。

- **SDI ステータスオーバーレイのアイコン誤表示**

プロセッシングモードが A709 に設定されている場合でも、特定の SDI 出力において Log C のアイコンが表示されることがあります。

- **同期ソース接続時に SDI 出力が一瞬失われる**

Genlock やタイムコードソースに接続する際に、SDI 出力には再同期がかかるため、一瞬出力が失われることがあります。

- **3.2K 収録モードでの 1.3x アナモフィック・デスクイーズモニタリング**

3.2K 収録モードでアナモフィック・デスクイーズを使用した場合、EVF/SDI 出力にスケーリングアーティファクトが表示されることがあります。これはモニタリング映像にのみ発生し、クリップ自体に問題はありません。

- **EVF ズーム時では 1.3x アナモフィック・デスクイーズ使用不可**

1.3x アナモフィック・デスクイーズは EVF ズーム時の映像に反映されません。

- **UHD SDI 出力では 1.3x アナモフィック・デスクイーズ使用不可**

1.3x アナモフィック・デスクイーズは 422 6G/DL 422 6G/422 3G DL の UHD SDI 出力映像に反映されません。

- **6G に設定する際に SDI 出力が一瞬失われる**

SDI 出力を 6G に、または 6G から別のフォーマットに変更する際に、両方の SDI 出力が一瞬失われることがあります。

- **タイムコード同期を使った際の SDI 出力**

同期ソースとしてタイムコードを使用した場合、SDI 出力がソースに完全に同期しないことがあります。この場合、3 値

同期の Genlock 信号を使用してください。

- **SDI/EVF にオーバーレイがある場合のリターン表示**

SDI/EVF にオーバーレイ表示が行われている場合、リターンイン映像への切り替えがすぐに行われなかったことがあります。

メディア

- **CFast 2.0 カードのクロスプラットフォームフォーマット問題への対策**

他社製のカメラで CFast 2.0 カードをフォーマットした際に、スキームの違いにより問題が発生することへの対策として、収録に使用できる CFast 2.0 カードは、SUP 4.0 以降の ALEXA Mini または AMIRA で ERASE を行ったものに限定されます。

メタデータ

- **ティルト・ロールデータの精度**

メタデータ内のティルト・ロールの値の精度は、VFX アプリケーションでの使用において最適ではないことがあります。

再生

- **HDR Look が焼きこまれたクリップは MVF/EVF で正しく表示されない**

HDR Look が焼きこまれたクリップを再生した場合でも、HDR に対応しておらず、トーンマッピングが行われていない MVF および EVF では正しく表示されません。これはモニタリング映像にのみ発生し、クリップ自体に問題はありません。いずれにせよ、HDR 撮影の際に Look を焼き込むことは一般的に推奨しておりません。

- **4444 XQ クリップのカメラ内再生**

ProRes 4444 XQ で収録したクリップを再生すると、ジッターの表示やフレームが水平に分割されたような映像になることがあります。これはモニタリング映像にのみ発生し、クリップ自体に問題はありません。

- **ポーズ時に、インタレースのクリップは縦の解像度が半分しか表示されない**

これは SDI 再生映像にのみ発生し、クリップ自体に問題はありません。

- **カメラボタンでのクリップリストのブラウジング**

カメラボディのボタンを使って再生メニューのプレイリストをブラウズした場合、ビューファインダー側で選択されている用に表示されているクリップと異なるクリップを実際には選択している事があります。

- **SDI 出力がインタレースに設定されていない場合、インタレース映像に縦方向のジッターが発生する**

これは SDI 再生映像にのみ発生し、クリップ自体に問題はありません。60i のクリップを再生するときは SDI 出力を 60i にするなど、SDI 設定をプロジェクト設定と一致させてください。

- **再生モードを起動してもピーキングは解除されない**

再生中にピーキングを表示したくない場合は、手動でピーキングを解除してください。

収録

- **ARRI_UDF システムではない CFast カードでもフォーマットを促されない**

MVF ディスプレイがライブビューになっている場合、カメラは CFast カードをフォーマットするように要求しません。カードのファイルシステムが ARRI_UDF ではなく、FAT32 や ExFAT 等の場合でも同様です。

- **MPEG または ARRIRAW 再生モードからの収録**

MPEG または ARRIRAW 再生モードから直接収録を開始しようとする、"Recording stopped due to FPGA failure. Please reboot camera."というエラーメッセージが表示されることがあります。収録前には必ず再生モードから戻ってください。

- **Noise Reduction の"Strong"設定**

S16HD/3.2K 4:3/2.8K/4K UHD モードで Noise Reduction を"Strong"に設定した場合、素早く移動する被写体にアーティファクトが発生する恐れがあります。事前にテストすることを推奨します。

- **CFast 2.0 カードへ書き込み中の電力喪失**

カメラが CFast 2.0 カードへ書き込んでいる際にカードを取り出すかカメラの電力が喪失した場合、カードを再度フォーマットしてください。カード自身やその後の収録に悪影響を及ぼさないよう、カメラに表示されるエラーと警告メッセージに従ってください。詳しい情報や他の問題が発生した場合は ARRI サービスセンターまでご連絡ください。

- **HD-SDI 出力が 2K に設定された場合のダウンスケール収録**

2K 解像度を HD にダウンスケールした収録では、収録された映像の画質はモニタリングには最適ですが、マスターレコードとしては不十分である場合があります。HD-SDI 収録をマスターレコードにする場合、収録フォーマットを HD に設定してください。

- **最大クリップサイズに対するエラーメッセージ**

非常に稀に、カメラが収録を停止して"Recording stopped - maximum clip size reached"というメッセージが表示されることがあります。これは ProRes LT などのデータレートの低いコーデックでディテールが非常に少ない映像を収録した場合に発生します。

- **収録中の感度・ホワイトバランスの変更**

収録中に感度 (Exposure Index)やホワイトバランス (White Balance)を変更した場合、1つのフレームの中で2種類の映像が競合する場合があります。

- **CFast 2.0 カードのリール数制限**

1枚の CFast 2.0 カードに収録できる最大リール数は、ProRes/ARRIRAW MXF の場合 15 リールです。リール数が最大に達した場合、リールの追加はできませんが映像の収録は可能です。

タイムコード

- **タイムコードを使用して複数のカメラを同期する**

Timecode Sync と Timecode Mode Regen を使って複数のカメラを同期した場合、プロジェクトレートが 30fps 以上に設定されているとタイムコードが 1 フレームオフセットして表示されることがあります。

- **センサーの LTC タイムコード同期に必要なタイムコードジェネレータ**

LTC タイムコード信号でカメラを Genlock するには、精度が高くジッターが少ないジェネレータが必要です。通常の LTC タイムコードソースとしては問題がないデバイスでも、LTC Genlock ソースとしては不十分な場合があります。

ユーザビリティ

- **SUP アップデート後に Web リモート機能が動作しない**

カメラをアップデートした後、Web ブラウザのキャッシュをクリアしていないと、Web リモート機能が正常に動作しないことがあります。

- **SDI 出力設定により QR コードスキャンが失敗する**

SDI 出力のフレームラインやピーキングを有効にしていると、WiFi 設定時の QR コードスキャンに失敗することがあります。QR コードをスキャンするときは、前述の設定を一時的に解除してください。

- **FN+1/FN+2 ボタンがエラーメッセージで阻害される**

エラーメッセージがポップアップすると、FN ボタンの機能が阻害されることがあります。ビューファインダー、CCP-1、Web リモートでエラーメッセージを確認してください。

- **MVF-1 と CCP-1 併用時のモード切り替え**

MVF-1 と CCP-1 をデジチェーン接続し、MVF-1 がアクティブモードになっている状態で、ProRes と ARRIRAW のモードを切り替えると、フェードアウトする黒いバーが表示されます。モード切り替え自体は正常に実行されます。

- **収録解像度を変更しても波形モニターは更新されない**

ビューファインダーに波形モニターを表示している場合、収録解像度を変更しても波形モニターは更新されません。波形モニターのオンオフを切り替えて、更新してください。

- **フレームラインのファイル名は 32 文字まで**

ファイル名が 32 文字以上であるフレームラインはサポートされていません。

- **ゼブラ機能は 99%まで**

ゼブラ機能の設定は最高で 99%までです。

- **WCU-4 でレンズファイル編集時のキャリブレーション要求**

カメラに LDS レンズが装着された状態で、アクティブになっている LDA レンズファイルを WCU-4 から編集しようとしたときに、カメラがレンズモータのキャリブレーションを要求することがあります。この場合、編集前に再度キャリブレーションを行ってください。

- **CAP 経由でのフレームグラブ**

再生中のカメラに対して CAP サーバ経由でフレームグラブを行った場合、再生中の映像ではなく、センサーのライブイメージが収録されます。

- **ティルト・ロールステータスのオーバーレイ**

カメラの動きによりティルト・ロールが正確に計算できない場合、電子レベラーおよびティルト・ロールのオーバーレイが誤表示される事があります。

- **最新バージョンの EF マウントは SUP 4 で使用できない**

カメラのファームウェアを SUP 4 にしても EF マウントはダウングレードされません。この場合、SUP 5.x にアップグレードされた EF マウントは使用できません。

- **タイムコードモードの Jam Sync と Genlock Sync は併用不可**

タイムコードモードの Jam Sync または Genlock Sync を使用する場合、カメラの内部オシレータはソースクリックに準拠します。そのため、Jam Sync と Genlock Sync を併用することはできません。

- **フレームグラブにミラーイメージのパーティカルフリップは適用されない**

ミラーイメージ使用時でも、フレームグラブには水平フリップしか適用されません。

- **一部のフォーマットではアナモフィック・デスクイーズを解除できない**

ProRes HD Ana.および 2:39:1 2K Ana.収録モードではアナモフィック・デスクイーズを解除できません。

- **以前のバージョンでのユーザセットアップは SUP 6.1 以降のカメラと互換性がない**

SUP 5 以前で作成したユーザセットアップは、SUP 6.1 以降のカメラではロードできません。

- **Starlite HD5-ARRI のディスプレイに UI が表示されていない場合**

Starlite HD5-ARRI が CLEAN 表示の SDI 出力に接続されていた場合、タッチインタフェースが有効化いても画面に何も表示されないため、スクリーンの対応した部位に触れると設定を気づかれぬまま変更されることがあります。タッチインタフェースが表示されるよう、PROCESSED 表示の SDI 出力に接続してください。

ビューファインダー

- **新型 MVF-1 を初めて接続した際のキャリブレーション**

新型 OLED ビューファインダーパネルを搭載した MVF-1 を初めて接続した場合、キャリブレーションが開始されるまで約 10 秒かかります。

- **4:3 2.8K モードでのアナモフィック・デスクイーズのスケーリングアーティファクト**

これはモニタリング映像にのみ発生し、クリップ自体に問題はありません。

- **シリアルナンバー 2150 以前またはアップグレードしていないアイピースの近接センサー**

正しくない角度でビューファインダーに接近した場合、近接センサーが反応せず OLED ディスプレイが表示されない場合があります。

- **超低フレームレートでの ZOOM またはサラウンドビュー**

約 5 fps 未満の超低フレームレート撮影時に ZOOM やサラウンドビューの ON/OFFLINE を切り替えると、EVF/モニター映像が一時的に薄くなる場合があります。

E. アップデート手順

ソフトウェア・アップデート・パッケージ (SUP)のダウンロード方法

ソフトウェア・アップデート・パッケージのダウンロードセクション (以下の URL)から SUP ファイルをダウンロードすることができます。USB スティックを用いて、下記の方法で SUP をカメラにインストールしてください。

<https://www.arri.com/en/technical-service/firmware/software-and-firmware-updates-for-cameras/alex-mini-sup-overview>

カメラのアップデート方法

ALEXA Mini のソフトウェア・バージョンアップは USB スティックを使って行います。SUP はカメラ本体と、カメラに接続されているビューファインダー (MVF-1)、CCP-1、レンズマウント、LBUS アクセサリーをアップデートします。アップデートは MVF-1 内のメニューまたは Web Remote 経由で実行することができます。Web Remote を使用するには、WiFi またはイーサネット (要 K2.72021.0 ALEXA Ethernet/RJ-45 Cable KC-153-S)ケーブルで PC にカメラを接続し、ウェブブラウザで <http://mini-LF-xxxxx.local> (xxxxx はカメラのシリアルナンバー)にアクセスします。Web Remote の詳細についてはユーザマニュアルをご覧ください。

- ・ ダウンロードしたファイル (*.zip)を解凍し、2 種類のアップデートファイル (*.SUP と*.lic)および SUP リリースノートを展開してください。
- ・ USB スティックを ALEXA Mini に接続して MENU > Media > Prepare USB medium を選択し、CONFIRM を押すことで、USB スティック内に必要なフォルダー構造が生成されます。
- ・ コンピュータに USB スティックを接続し、ARRI/A-Mini/SUP のフォルダーに*.SUP ファイルを配置します。同様に、ARRI/A-Mini/LICENSES フォルダーに*.lic ファイルを配置します。
- ・ SUP にはカメラボディ以外のアップデートファイルも含まれているため、アップデートを行うときは、MVF-1、CCP-1、レンズマウント、LBUS アクセサリーをカメラに装着してください。
- ・ アップデート中に電源が切れないよう、カメラを可能なら安定電源、またはフル充電されたバッテリーに接続してください。
- ・ Menu > Setup > Factory Reset...からファクトリーリセットを行います。
- ・ カメラから収録メディアを取り出します。
- ・ USB スティックをカメラに接続し、MENU > System > Update Camera...を選択します。
- ・ リストから適切な SUP ファイルを選択し、ジョグホイールを押します。
- ・ メッセージが表示されたら INSTALL を押し、インストールを開始します。
- ・ アップデート状況を示すスクリーンがカメラに表示されます。カメラが再起動するまでオフにしたり電源を取り外さないでください。
- ・ アップデート終了後、成功のメッセージが表示されます。このステップを再度繰り返し、カメラを 2 回アップデートしてください。
- ・ System Time 設定から正しいタイムゾーンを選択してください。
- ・ アップデート時にカメラに MVF-1、CCP-1、レンズマウント、LBUS アクセサリーが接続されていなかった場合、それらのデバイス用のソフトウェアがカメラに保存されます。これらのデバイスが次にカメラに接続されたときにソフトウェアが古ければ、カメラがアップデートを推奨します。

■ 本件に関するお問合せ先

株式会社 ナックイメージテクノロジー

東京都港区北青山 2-11-3

営業本部 制作営業部

TEL 03-3796-7901 / FAX 03-3796-7905

株式会社 ナックイメージテクノロジー

東京都港区赤坂 4-13-13

営業本部 レンタル部 / カスタマーサポート部 制作技術 G

TEL 03-3583-7902 / FAX 03-3583-7906